

2023



共通テスト **ズバリ！的中**

倫理

江戸時代の伊藤仁斎の思想を生徒の発言と結びつけた問題

共通テスト

河合塾

第2問 問4

第2回全統共通テスト模試 第2問 問1

Ⅱ 次のレポートは、江戸時代において、どのような場面で「問い」が発せられていたかについて、Cがまとめたものである。

問1 下線部④に関連して、CとDは、儒学者である伊藤仁斎が説いた誠について、自分たちの身近な事例を通じて説明できないかを話し合った。伊藤仁斎の誠についての考え方に即してなされた発言として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

レポート

江戸時代には特定の文献を基に、仲間同士で問いと応答を交わす「会談」が流行し、伊藤仁斎も行った。問答形式で書かれた『童子問』で、④仁斎は「仁」について、「我よく人を愛すれば、人またよく我を愛す」と説いている。

また、③吉田松陰が牢獄で囚人たちと行った、『孟子』の会談も印象深かった。松陰は獄中でも、『孟子』の内容を切実に問うた。どんな境遇でも、誰に対しても、問いは生まれるものなのだと、私は松陰から教えられた。

問4 下線部④に関して、Cは同級生に対して、伊藤仁斎が下線部④で説いていることを、身近な人間関係に即して説明した。伊藤仁斎が説く「仁」の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 親や友達のように、日常生活を共にしている相手にはわがままに振舞ってもよいと思う。でも、自分の知らない人に対しては、相応の礼儀を尽くすべきだと思うな。
- ② 人と関わる時に大事なものは、偽りの無い本心で相手に接し、相手の気持ちを自分のことのように理解しようと思うことだと思うな。それこそがあるべき真の人間関係を作ることになると思うよ。
- ③ 他人の気持ちは分からないものだから、そもそも分かろうとすること自体をやめるべきだよ。分かろうとしなければ、分からないことによるいら立ちは消えて、他人を尊重する態度だけが残るでしょ。
- ④ 友達や親に対して「こうして欲しい」と思う感情があると、相手に要求するばかりになってしまってもよくないよね。自分の感情を厳格につつしみ、できる限り無私に徹することが必要だと思うよ。

- ① 人の心を、安易に信じては危ないよね。そんなものより、礼儀により外面を整えることが大事だと思う。私が先輩に挨拶すれば、先輩も私に挨拶を返す、この礼儀が「仁」だよ。
- ② 本当に大切なことは、日常の間柄にあるはずだよ。あらゆる偽りを排することを心掛け、私が弟に思いやりを持って接すれば、弟も私に思いやりを返す、この思いやりが「仁」だよ。
- ③ 人間の私利私欲は、厳しくつつしまねばならないよね。欲望から完全に脱することによって可能となるような、私が友人を思いやって友人も私を思いやる、愛に満ちた間柄が「仁」だよ。
- ④ 人間関係には、厳格さが必要だよ。人間の上下関係の秩序を重んじ、その道理と心を一体にすることによって可能となる、先生に対する正しい振る舞いが「仁」だよ。

共通テストでは、「仁」についての伊藤仁斎の思想に合致するものを選ぶ問題が出題された。第2回全統共通テスト模試問題では、仁を成り立たせる「誠」についての伊藤仁斎の思想に合致するものを選ぶ問題を出題。ともに、現代の身近な事例にかかわる生徒の発言を選択肢で示し、江戸時代の伊藤仁斎の思想についての理解を試している。